

2012年 公務員試験

まだ間に合います！

学生の皆さんへ

周りの人からもう遅いと言われる、民間企業と迷っている、サークルが忙しいなど、公務員試験の勉強に踏み出せないという人。始めるなら今がチャンスです。時期的にはまだ十分、来年の試験に間に合わせることができますし、民間企業の就職活動・サークル・アルバイトとの両立も可能です。受験する試験を明確にし、試験対策を効率よく行うことで、公務員という選択肢が増えるのです。まずはガイダンスにご参加ください！

社会人の皆さんへ

今頃から2月頃までは、社会人の方の受験生が増える時期です。仕事を辞めて試験勉強に専念する方も、仕事を続けながら試験にのぞむ方もいらっしゃいます。喜治塾では、それぞれの状況に合わせたプランづくりをお手伝いいたします。ぜひ相談にいらしてください。



2011年合格者

100日生

A・T さん

埼玉県庁・特別区（文京区）合格

私は将来の目標や就きたい職業がなかなか定まらず、公務員を目指すようになったのは受験する年の1月からでした。喜治塾の100日生としてスタートし、4ヶ月間は必死で勉強する日々が続きました。100日生は毎日のように塾で講義があったため、基本的にはそれに従って勉強しましたが、商法や政治学など一部の科目はDVDで先取りをして、早いうちになるべく多くの科目を頭に入れるようにしました。どの科目についても、1授業を聞いて1回で覚えること、2単純な暗記ではなくその理屈を理解すること、の2点を心掛けました。特に民法は単なる暗記だと膨大な量になってしまうので、先生が説明して下さった理論や背景をテキストに書き込み、その場その場でしっかり理解するようにしていました。そのため、授業を1コマ受けたと頭も手も疲労しましたが、ノートを見返すだけでその授業が頭で再生され、何度も復習しなくても知識が定着していきました。反対に、苦労したのは経済学でした。経済学で出てくる「所得効果」「IS-LM分析」などの専門用語は実生活で全くなじみのないものだったので、概念を理解するのに一苦労でした。講義を聞いたら問題集を解き、少し時間を置いてまた解く、ということを繰り返し、問題パターンに慣れていきました。

面接対策は、自己分析に比重を置きました。私の受験した自治体の面接では、自分の経験・成長した出来事・挫折などパーソナリティに関わる質問が多いと聞いていたため、経験から感じたこと、そしてそれが今の私にどう結びついているかをきちんと考え、答えられるようにしました。

私は結果的に、第一志望の埼玉県庁と特別区（文京区）から内定をいただきました。合格発表で自分の番号を見つけた瞬間は、喜び・安堵・達成感・応援して下さった周りの方への感謝などの色々な気持ちが交錯しました。現在は、来年からどのような仕事ができるのかわくわくすると同時に、世の中の動向をきちんと掴み、それに対する自分なりの意見を持てる人間になりたいと思っています。

最後に、私が喜治塾を選んだ一番の理由は、喜治塾が少人数制の授業を実施していることでした。講師の先生方も事務員の方々も、生徒ひとりひとりの状況に応じてカリキュラムを組んでくださったり、相談に乗ってくださったりしたので、100日生で時間がない私にとっては非常にありがたいものでした。後輩のみなさんも、春から通っている方、秋からスタートで焦っている方、大学既卒の方など、状況は様々だと思います。不安な時、なかなか成績が上がらない時、きっとあるでしょう。しかし、生徒に対して個別対応して下さる喜治塾を信じて、残りの時間を過ごして欲しいと思っています。応援しています。

※100日生とは「100日合格完成講座」のことで、例年1～3月に始まる。「喜治塾」では他予備校とは違い、講義がDVDではなくライブ講義でほとんど行われるのが特徴。都庁、県庁、特別区、外務専門職員を始め、毎年多くの合格者を輩出している講座。

洗練されたカリキュラム

テキストの内容には無駄がなく、そのみで試験の大部分に対応が可能です。また講義は要点を抑え、解りづらいポイントを丁寧に解説してくれるものでしたので、苦手科目はもちろん、すでに学んだ領域でも新しい発見が数多くあり、理解と記憶に大きな助けになりました。苦手だった面接は個別の面接特訓で具体的な改善点を指摘してくれる喜治塾のシステムは合格への近道になりました。

2010秋入塾

Y・I さん

裁判所11種・特別区（新宿区）合格

みんなで合格しよう

授業は真面目・一生懸命、休憩時間は友人や事務の方と話したり外へ出てみたりと、メリハリをつけて勉強する事ができる環境です。勉強が辛くなったときや不安なときは誰かに相談することで、気持ちが楽になり、苦しい時期を乗り越えることができたと思います。皆が一つの教室で同時に授業を受けるスタイルなので、「みんなで合格しよう」という一体感のようなものも感じられました。

2010秋・冬入塾

K・O さん

特別区（大田区）合格